

ヤクルト
サステナビリティストーリーズ



人も地球も健康に

Yakult

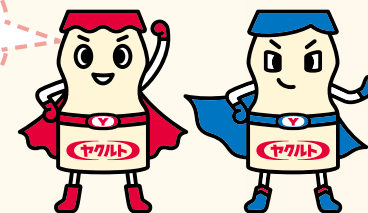


02 ヤクルトってどんな会社？

ヤクルトってどんな会社？

ヤクルトの事業は、ライフサイエンスを基盤に、「ヤクルト」などの乳酸菌飲料を含む食品から、化粧品、国際事業へと拡大しています。

「ヤクルト」以外にも
つくっているよ！



03 ヤクルトの誕生とサステナビリティ

04 ヤクルトの発展とサステナビリティ

05 ヤクルトがめざす未来の姿

06 ヤクルトの未来につながる12の重要なテーマ

07 ヤクルトの未来に向けた環境への取り組み

08 ヤクルトの未来をつくり、支える人々

09 事業を通じたサステナビリティの取り組み

14 全社でのサステナビリティの取り組み



食品事業

乳酸菌飲料「ヤクルト」やはっ酵乳「ジョア」などの乳製品、清涼飲料も製造しています。

WEB 商品情報 >>>



化粧品事業

乳酸菌培養液の美容的有効性を活用したオリジナル成分配合の化粧品を販売しています。

WEB ヤクルト ビューティエンス >>>

ライフサイエンス

ヤクルトの事業の基盤には、
ライフサイエンス(生命科学)が
あります。

国際事業



日本を含む、世界40の国と地域で「ヤクルト」を販売しています。

WEB 国際事業展開 >>>

その他事業



ヘルスケアカンパニーへの進化をめざした事業領域の拡大を進めています。

WEB 一般のお客さま向け製品 >>>





ヤクルトの誕生とサステナビリティ



代田 稔

ヤクルトの創始者である代田 稔が医学を志し、京都帝国大学（現在の京都大学）に入学したのは1921年。当時の日本は、衛生状態の悪さから感染症で命を落とす子どもたちが数多くいました。代田は、病気にかかってから治療するのではなく、病気にかからないようにする「予防医学」こそが重要と考え、微生物の研究を重ね、「乳酸菌 シロタ株」を生み出しました。そして、この乳酸菌を多くの方に届けるため、有志とともに安価でおいしい乳酸菌飲料として製品化、「ヤクルト」が誕生しました。一人でも多くの方に健康になっていただきたいという当時の想いは、今もヤクルトの事業に受け継がれています。

02

ヤクルトって
どんな会社？

03

ヤクルトの誕生と
サステナビリティ

04

ヤクルトの発展と
サステナビリティ

05

ヤクルトがめざす
未来の姿

06

ヤクルトの
未来につながる
12の重要なテーマ

07

ヤクルトの
未来に向けた
環境への取り組み

08

ヤクルトの未来を
つくり、支える人々

09

事業を通じた
サステナビリティの
取り組み

14

全社での
サステナビリティの
取り組み



創始者 代田 稔の想い

……………＜企業理念＞……………

私たちは、
生命科学の追究を基盤として、
世界の人々の
健康で楽しい生活づくりに
貢献します。

コーポレートスローガン

人も地球も健康に

予防医学

代田イズム

健腸長寿

誰もが手に
入れられる
価格で

3 すべての人に
健康と福祉を



ヤクルトの
理念・事業活動は
SDGsの考え方、
および目標3と
合致しています。

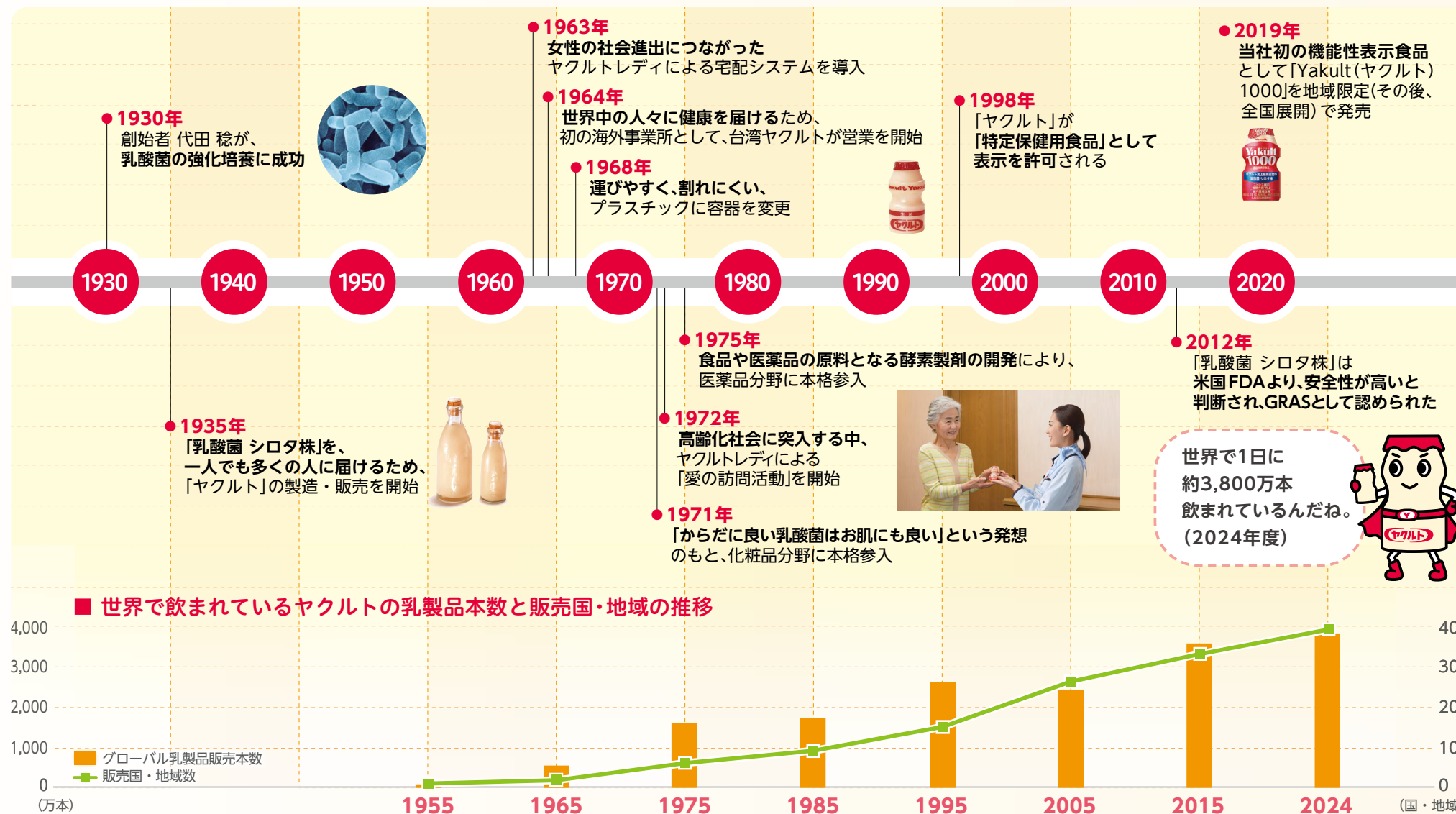
WEB 企業理念・コーポレートスローガン >>>



ヤクルトの発展とサステナビリティ



ヤクルトグループは創業時から、世界の人々に健康をお届けする「ヤクルト」の製造・販売、女性の活躍の機会を拡大するヤクルトレディの活動等をとおして、さまざまな社会課題の解決に取り組んでいます。



- 02 ヤクルトってどんな会社?
- 03 ヤクルトの誕生とサステナビリティ
- 04 ヤクルトの発展とサステナビリティ
- 05 ヤクルトがめざす未来の姿
- 06 ヤクルトの未来につながる12の重要なテーマ
- 07 ヤクルトの未来に向けた環境への取り組み
- 08 ヤクルトの未来をつくり、支える人々
- 09 事業を通じたサステナビリティの取り組み
- 14 全社でのサステナビリティの取り組み





02

ヤクルトって
どんな会社？

03

ヤクルトの誕生と
サステナビリティ

04

ヤクルトの発展と
サステナビリティ

05

ヤクルトがめざす
未来の姿

06

ヤクルトの
未来につながる
12の重要なテーマ

07

ヤクルトの
未来に向けた
環境への取り組み

08

ヤクルトの未来を
つくり、支える人々

09

事業を通じた
サステナビリティの
取り組み

14

全社での
サステナビリティの
取り組み

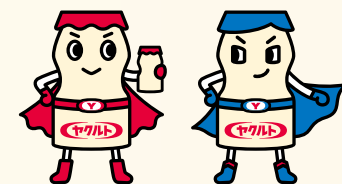
ヤクルトがめざす未来の姿

世界の人々の健康に貢献し続けるために

私たちの事業の出発点は、創業当時の日本における健康に関する社会課題の解決でした。時代の変化とともに、健康に対する考え方も多様化し、社会課題も大きく変わっています。

ヤクルトグループは、この変化に対応するため、2021年に長期ビジョン「Yakult Group Global Vision 2030」を策定しました。

事業活動をととして、社会課題の解決に貢献し、企業理念の実現に向けた活動を推進していきます。



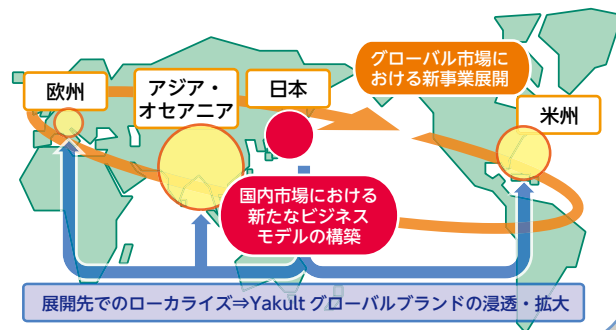
Yakult Group Global Vision 2030

めざす姿

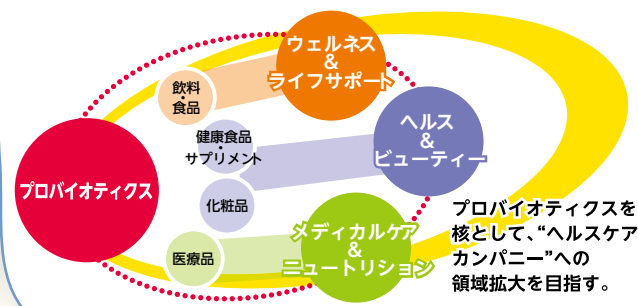
世界の人々の健康に貢献し続けるヘルスケアカンパニーへの進化

世界の一人でも多くの人々に
健康をお届けする

重点テーマ グローバル展開の強化

一人ひとりに合わせた
「新しい価値」をお客さまへ提供する

重点テーマ 事業領域の拡大

人と地球の共生社会を
実現する

重点テーマ 環境課題への対応

People and Planet as One
ヤクルトグループ環境ビジョン

P7 >>>

WEB ー長期ビジョンー「Yakult Group Global Vision 2030」>>>

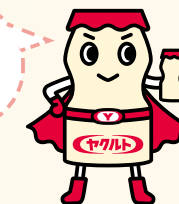


ヤクルトの未来につながる12の重要なテーマ

ヤクルトグループは、コーポレートスローガン「人も地球も健康に」のもと、サステナビリティを高めるための12の重要なテーマに取り組んでいます。

これらの重要な取り組みをとおして、社会と企業のサステナビリティを追求し、長期ビジョン「Yakult Group Global Vision 2030」の実現をめざします。

12のテーマに取り組んで、めざす未来を実現していくよ。



- 02 ヤクルトってどんな会社？
- 03 ヤクルトの誕生とサステナビリティ
- 04 ヤクルトの発展とサステナビリティ
- 05 ヤクルトがめざす未来の姿
- 06 **ヤクルトの未来につながる12の重要なテーマ**
- 07 ヤクルトの未来に向けた環境への取り組み
- 08 ヤクルトの未来をつくり、支える人々
- 09 事業を通じたサステナビリティの取り組み
- 14 全社でのサステナビリティの取り組み

Yakult Group Global Vision 2030

世界の一人でも多くの人に健康をお届けする	安全・安心な製品と情報の提供	地域社会との共生	強靱で持続可能なサプライチェーンの構築	
一人ひとりに合わせた「新しい価値」をお客さまへ提供する	地域に根ざした健康の普及	多様な健康ニーズに応える健康価値の創出		
人と地球の共生社会を実現する	気候変動の緩和と適応	持続可能なプラスチック容器包装の推進	持続可能な水資源管理	生物多様性の保全
事業の成長を支える人的資本	従事者の健康・安全・安心	新しい価値を提供できるイノベティブな人材の育成	従事者の多様性の尊重	



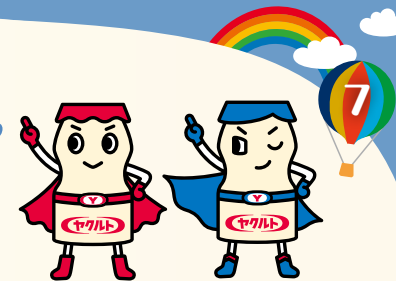


- 02 ヤクルトって
どんな会社？
- 03 ヤクルトの誕生と
サステナビリティ
- 04 ヤクルトの発展と
サステナビリティ
- 05 ヤクルトがめざす
未来の姿
- 06 ヤクルトの
未来につながる
12の重要なテーマ
- 07 **ヤクルトの
未来に向けた
環境への取り組み**
- 08 ヤクルトの未来を
つくり、支える人々
- 09 事業を通じた
サステナビリティの
取り組み
- 14 全社での
サステナビリティの
取り組み

ヤクルトの未来に向けた環境への取り組み

ヤクルトグループ環境ビジョン

ヤクルトグループは、2021年3月、人と地球の共生社会の実現をめざす「ヤクルトグループ環境ビジョン」を策定しました。
地球環境へのマイナスの影響を減少させ、プラスの影響を与える取り組みを推進していきます。



環境ビジョン2050

「人と地球の共生社会を実現する バリューチェーン環境負荷ゼロ経営」

2050年までに温室効果ガス排出量ネットゼロ（スコープ1・2・3）を目指します。

環境目標2030

「環境目標2030」は「環境ビジョン2050」を実現するために、環境面の4つの重要なテーマについて定めた中期目標です。



気候変動の緩和と 適応

〔対象範囲：本社および国内外全連結子会社〕

1. 温室効果ガス排出量（国内スコープ1・2）を2022年度比42%削減する
2. 温室効果ガス排出量（スコープ3）を2022年度比25%削減する
3. 温室効果ガス排出量（FLAG※）を2022年度比31%削減する



持続可能な プラスチック容器 包装の推進

1. 2030年度のプラスチック製容器包装の使用量（国内・海外）の20%以上に相当する量に対してサステナブルな取り組みを実施する
2. ヤクルト容器の水平リサイクルのしくみを確立する



持続可能な 水資源管理

1. 国内・海外の乳製品工場における水リスク詳細調査により、各地域における課題を抽出し、優先順位の高い課題への施策展開を100%実施する
2. 削減活動の継続に加え、2030年度の製品化された水消費量（国内・海外の乳製品工場）を対象に、水源涵養活動^{かんよう}を推進する



生物多様性の 保全

1. 地域社会における生物多様性保全活動への支援・参画を推進する
2. 事業活動による生物多様性への影響を把握し、軽減施策を推進する

WEB 環境 ▶▶▶

※ 森林、土地、農業を示すForest, Land, and Agricultureの頭文字を取った言葉であり、土地利用変化や土地管理での排出等が対象となる。



ヤクルトの未来をつくり、支える人々

人の手に支えられているヤクルトグループの事業活動

ヤクルトグループの事業活動は、さまざまな人々の手に支えられています。これらのヤクルトの事業に関わるすべての人がヤクルトの未来をつくり、世界中の人々と地球の「健康」に貢献していきます。

研究・開発

腸内細菌や有用微生物などを研究する人

人々の健康と予防医学の普及・発展のため、研究成果を商品開発に生かしています。

P.9 >>>

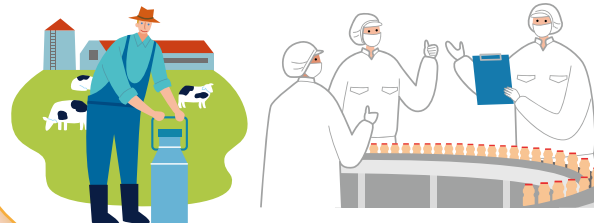


調達・生産

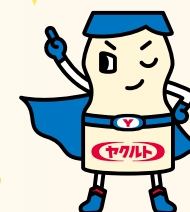
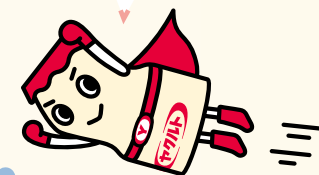
「ヤクルト」の原材料を仕入れ、生産をする人

「安全・安心」で高品質な商品をお届けするために、厳しい品質基準に基づいた商品を生産しています。

P.10、11 >>>



「ヤクルト」はたくさんの人に
支えられているよ



販売

「ヤクルト」を届ける人

商品と健康情報を、真心を込めてお届けしています。

P.13 >>>



お客さま

「ヤクルト」を待っている人々

現在、世界40の国と地域で事業を展開しています。今後も一人でも多くの方にお届けします。

P.5 >>>



02

ヤクルトって
どんな会社？

03

ヤクルトの誕生と
サステナビリティ

04

ヤクルトの発展と
サステナビリティ

05

ヤクルトがめざす
未来の姿

06

ヤクルトの
未来につながる
12の重要なテーマ

07

ヤクルトの
未来に向けた
環境への取り組み

08

ヤクルトの未来を
つくり、支える人々

09

事業を通じた
サステナビリティの
取り組み

14

全社での
サステナビリティの
取り組み





事業を通じたサステナビリティの取り組み

事業活動の各段階でサステナビリティに取り組んでいます。



研究・開発

予防医学や健腸長寿に貢献する研究開発に取り組み、研究成果を食品・化粧品へと応用しています。

乳酸菌と力を合わせて、お肌の健康に貢献できる研究に励んでいます！



中央研究所 化粧品研究所 指導研究員 山口 るみ

ヤクルトの課題

- 人々の健康意識の変化や高まりに応える
- 知的財産の投資・活用を事業戦略に組み込む

人々の健康に役立つ研究・開発を進めているよ



ヤクルトの取り組み

貢献するSDGs



■ 生命科学を基礎としたプロバイオティクス研究

中央研究所を中心に、プロバイオティクスからヘルスケア事業の領域まで、さまざまな研究に取り組んでいます。
2019年に、時代の健康価値に則した商品「Yakult(ヤクルト)1000」を発売しました。



Yakult (ヤクルト) 1000

■ 外部機関との共同研究

国内外の大学・公的研究機関との共同研究など外部機関との研究開発にも、積極的に取り組んでいます。



中央研究所

■ 知的財産活動

研究開発によって生み出された新製品・新技術に関する知的財産権（特許権、意匠権、商標権等）の取得を国内外で積極的に推進し、自社ブランド価値の維持・向上に努めています。

世界各国・地域で商標「Yakult」等について権利を取得するとともに、トレードマークであるヤクルト容器の形状について、日本、米国などで立体商標として権利化しています。

研究・開発

調達

生産

物流

販売

お客さまのもとへ



事業を通じたサステナビリティの取り組み



- 02 ヤクルトってどんな会社?
- 03 ヤクルトの誕生とサステナビリティ
- 04 ヤクルトの発展とサステナビリティ
- 05 ヤクルトがめざす未来の姿
- 06 ヤクルトの未来につながる12の重要なテーマ
- 07 ヤクルトの未来に向けた環境への取り組み
- 08 ヤクルトの未来をつくり、支える人々
- 09 **事業を通じたサステナビリティの取り組み**
- 14 全社でのサステナビリティの取り組み



調達

取引先と協力して、脱脂粉乳・砂糖・包装資材等の原材料を公正に調達しています。

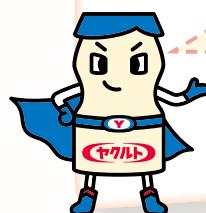
取引先の皆さんと共に
持続可能な調達に取り組んでいます!

調達部 原料課 係長 黒田 美翔



ヤクルトの課題

- 企業のサステナブル調達を推進する
- サプライチェーン全体でのサステナビリティ意識を浸透させる



持続可能な調達
を推進するよ

ヤクルトの取り組み

貢献するSDGs



■ 取引先リスク管理

ヤクルトグループは、国内外の取引先に対して、サステナビリティに関する自社の取り組みを評価する「サステナブル調達アンケート」を実施しています。

2022年度からは自社評価もできる国際的なプラットフォーム「Sedex」も活用し、サプライチェーン上のリスク管理を実施しています。

■ 取引先向け説明会

取引先の皆さまに、当社の「CSR調達方針」への理解、協力を依頼するとともに、サステナビリティに貢献する取り組みの重要性についての意識啓発に取り組んでいます。



取引先向けCSR調達方針説明会の様子

■ 「調達活動における森林破壊・土地転換ゼロコミットメント」の策定

サプライチェーンにおける森林破壊リスクのある原材料を特定し、基本の方針、取り組みおよび目標を掲げながら、持続可能な調達を推進しています。



調達活動における「森林破壊・土地転換ゼロコミットメント」解説動画

研究・開発

調達

生産

物流

販売

お客さまのもとへ



事業を通じたサステナビリティの取り組み



- 02 ヤクルトってどんな会社?
- 03 ヤクルトの誕生とサステナビリティ
- 04 ヤクルトの発展とサステナビリティ
- 05 ヤクルトがめざす未来の姿
- 06 ヤクルトの未来につながる12の重要なテーマ
- 07 ヤクルトの未来に向けた環境への取り組み
- 08 ヤクルトの未来をつくり、支える人々
- 09 **事業を通じたサステナビリティの取り組み**
- 14 全社でのサステナビリティの取り組み



生産

原材料・エネルギー・水資源を効率的に利用するなど、
環境に配慮した方法で安全・安心・高品質な商品を生産しています。

エネルギーを必要な時に
必要な分だけ大切に使用
して生産しています!

茨城工場 施設管理課 係長 木村 貴寛



ヤクルトの課題

- 環境負荷を低減した生産体制を構築する。
- 「安全・安心」な商品を提供する。
- 従業員の労働安全衛生を整備する。

環境に配慮しながら、働く人にもやさしく生産しているよ



ヤクルトの取り組み

貢献するSDGs



■「安全・安心」な商品の生産

世界各地で「安全・安心」な商品をお届けするため、徹底した品質管理および安全性について明記した「品質基本方針」に則した生産を行っています。



■環境負荷を低減した生産体制

グループ国内全生産工場において、生産工程で使用する電力をすべて実質的に再生可能なエネルギーへ切り替えました。生産工程の見直しによる水使用量の削減や、乳製品の受注生産による食品ロスの削減にも努めています。

■従業員の労働安全衛生環境の整備

ヤクルトグループの国内外の各工場は、各国・地域の法令に基づき、社員の災害事故防止と生命・身体を保護し、日常的に安心して働ける労働環境の確立に向けて活動しています。

日本では、定期的に安全衛生巡視を実施し、設備の改善に取り組むほか、安全衛生教育を実施しています。中国ヤクルトグループでは安全点検活動や全社員の安全教育を実施しています。

研究・開発

調達

生産

物流

販売

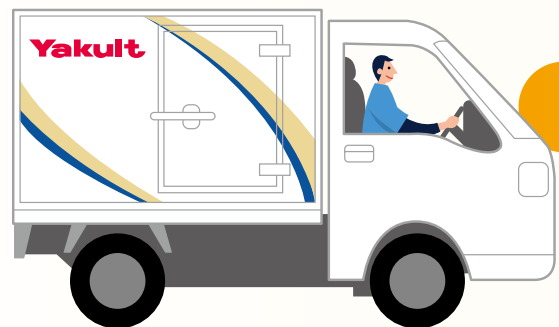
お客さまのもとへ



事業を通じたサステナビリティの取り組み



- 02 ヤクルトってどんな会社?
- 03 ヤクルトの誕生とサステナビリティ
- 04 ヤクルトの発展とサステナビリティ
- 05 ヤクルトがめざす未来の姿
- 06 ヤクルトの未来につながる12の重要なテーマ
- 07 ヤクルトの未来に向けた環境への取り組み
- 08 ヤクルトの未来をつくり、支える人々
- 09 **事業を通じたサステナビリティの取り組み**
- 14 全社でのサステナビリティの取り組み



物流

エコドライブを徹底し、環境負荷が少ない輸送方法を選択することで、商品輸送時の二酸化炭素(CO₂)排出量を削減しています。

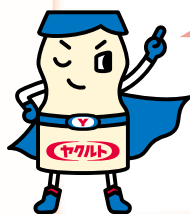
地球環境に配慮した物流のしくみや体制づくりに積極的に取り組んでいます!

物流統括部 管理課 係長 中山 拓



ヤクルトの課題

- 環境負荷を低減した物流網を構築する。
- 従事者の労働環境を整備する。



「ヤクルト」を運ぶときのCO₂を減らすよ

ヤクルトの取り組み

■ モーダルシフトの推進

環境負荷の軽減を考慮し、貨物輸送に鉄道や船を利用するモーダルシフトを推進しています。トラック輸送のCO₂排出量と比較すると、鉄道輸送は11分の1、海上貨物輸送は5分の1です。



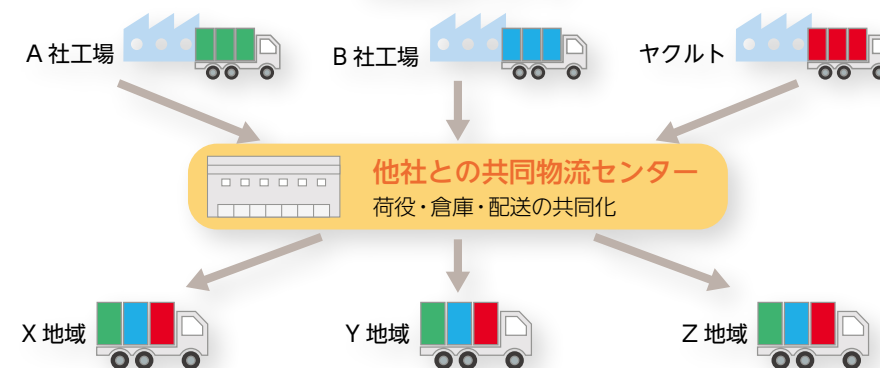
貢献するSDGs



■ 他社との共同配送

他社メーカーとの共同配送(荷役・倉庫・配送の共同化)を推進し、物流効率化とCO₂排出量削減を図っています。

共同配送のイメージ



研究・開発

調達

生産

物流

販売

お客さまのもとへ



事業を通じたサステナビリティの取り組み



- 02 ヤクルトってどんな会社？
- 03 ヤクルトの誕生とサステナビリティ
- 04 ヤクルトの発展とサステナビリティ
- 05 ヤクルトがめざす未来の姿
- 06 ヤクルトの未来につながる12の重要なテーマ
- 07 ヤクルトの未来に向けた環境への取り組み
- 08 ヤクルトの未来をつくり、支える人々
- 09 **事業を通じたサステナビリティの取り組み**
- 14 全社でのサステナビリティの取り組み



販売

商品とともに、商品の正しい知識や健康に役立つ情報をお客さまにお届けしています。

商品のお届けのみならず、健康情報の提供にも力を入れています！

宅配営業部 宅配企画課 係長 立石 拓也



ヤクルトの課題

- 一人でも多くの人々に健康をお届けする。
- 地域の「安全・安心」へ貢献する。

世界の人々に健康と笑顔をお届けするよ



ヤクルトの取り組み

貢献するSDGs



健康に寄与する商品のお届け

ヤクルトレディは、おなかの健康に寄与する商品のお届けとともに、お客さまにその特性をきちんとお伝えし、理解していただくことを大切にしています。また、健康に関する情報も合わせてお伝えすることで、お客さまの健やかな生活づくりに貢献しています。

「出前授業」「健康教室」の実施

販売会社の社員が、主に小学生向けに行う「出前授業」。腸の大切さや「よいうち」を出すための生活習慣について分かりやすく説明しています。大人向けには、プロバイオティクスなどの健康情報をテーマにした「健康教室」を開催しています。国内外で活動の輪が広がっています。



健康教室（インドネシアヤクルト）

「愛の訪問活動」等、地域貢献活動の実施

ヤクルトでは、1972年から商品をお届けしながら一人暮らしの高齢者の安否を確認したり、交流を深める「愛の訪問活動」を実施しています。また、自治体や警察等と連携した地域の見守り防犯協力活動にも協力し、地域の「安全・安心」に貢献しています。



愛の訪問活動

研究・開発

調達

生産

物流

販売

お客さまのもとへ

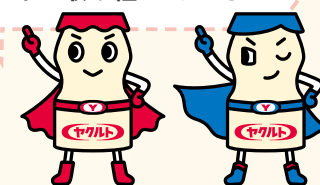


全社でのサステナビリティの取り組み

ヤクルトグループサステナビリティキャンペーン

ヤクルトグループは、全従事者がサステナビリティ活動の推進者となるよう、さまざまなアプローチで意識の浸透を図っています。1994年度からグループ全従事者を対象に実施している「ヤクルトグループサステナビリティキャンペーン」について紹介します。

ヤクルトグループ全体で
サステナビリティに取り組んでいるよ



2024年度の取り組み

● 人と地球のために、今行動しよう!

～気候変動問題の解決に向けて1.5℃目標のために取り組もう!～

サステナビリティキャンペーンは、2022年度に策定したキャッチコピー「人と地球のために、今行動しよう!」に沿って実施しています。2024年度は、世界平均気温の上昇を産業革命の前と比べて1.5℃以内に抑えるという「1.5℃目標」達成に向けて一人ひとりができることをテーマに実施しました。

ヤクルトグループ内の各拠点単位で気候変動問題の解決に向けた具体的な取り組み目標である“ Our Act Now ”宣言を募集したところ、167拠点が参加し、合計37,543人が目標を達成しました。達成者1人につき100円に換算し、公益財団法人国際緑化推進センター(JIFPRO)*に3,754,300円を寄付しました。この寄付金は、同団体における森林保全活動に活用されます。

※ 公益財団法人国際緑化推進センター(JIFPRO): 森林保全、国際緑化を推進している団体で、気候変動対策の有効な手段の1つである植林活動を、熱帯林の減少が著しい東南アジアを中心に推進している団体

“ Our Act Now ”宣言とは?

国連のキャンペーン“ Act Now ”のキーアクションから取り上げた3つのテーマのうち、拠点単位で1つ選択し、一人ひとりが取り組めるより具体的な行動目標を宣言するもの。

● その他の取り組み

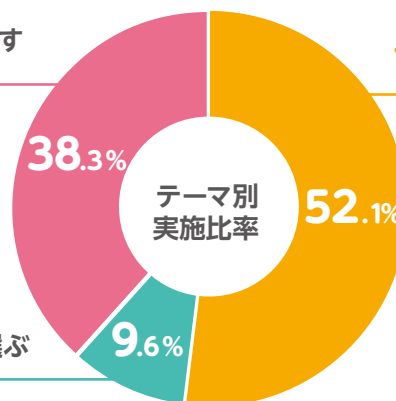
▶「環境アクション(2021-2024)」の取り組みとして、工場等において植樹活動等を実施しました。

▶公益財団法人オイスカの「子供の森」計画へ、10万円の支援金を贈りました。

テーマ 1 廃棄食品を減らす

テーマ 2 リデュース、リユース、リペア、リサイクル

テーマ 3 環境に配慮した商品を選ぶ



- 02 ヤクルトってどんな会社?
- 03 ヤクルトの誕生とサステナビリティ
- 04 ヤクルトの発展とサステナビリティ
- 05 ヤクルトがめざす未来の姿
- 06 ヤクルトの未来につながる12の重要なテーマ
- 07 ヤクルトの未来に向けた環境への取り組み
- 08 ヤクルトの未来をつくり、支える人々
- 09 事業を通じたサステナビリティの取り組み

14 全社でのサステナビリティの取り組み

